



はぐくみ 2月

学校だより
令和5年2月10日 第10号
那覇市立識名小学校
校長 工藤 直也

新年が明けたと思ったらあっという間に2月も中旬を迎えます。今年度も残すところ1ヶ月あまりとなりました。各教室では、卒業まであと何日、進級まであと何日といったカウントダウンカレンダーも見られます。その日までにやり残したことがないように、何事も計画的に取り組むという意識付けにもなっていると思います。「2月は逃げる」と言いますが、逃がさないようにしっかりと追いかけていきたいものです。

ミニミニ しきなっ子まつり開催

2月5日（日）に識名小学校正門玄関前広場においてミニミニしきなっ子まつりが行われました。当日はチケット制にしてまつりを楽しむかたちにしていましたが、用意していた400枚のチケットも完売するほど大盛況でした。

しきなっ子まつりは、コロナ禍の影響で3年ぶりの開催、しかも体育館の改築工事中ということもありミニミニという小規模開催となりました。ミニミニとはいいながらも、ステージ部門、ブース部門で子供達や保護者のたくさんの笑顔が見られ、大変うれしく思いました。

また、前日準備、当日の片付けとご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今後とも、家庭、地域、学校が連携してしきなっ子を育てて参りましょう。

第2回弁当の日

1月30日（月）に第2回弁当の日を実施しました。1回目は春の遠足の弁当とし、今回は2回目として設定しました。

今回の弁当の日では、発達段階に応じて、子供達がお弁当作りに関わり、親子で食について考えたり、食事と健康について考えたりする機会となることをねらいとして行いました。子供達の中からは、「メニューを自分で考えたよ」「お肉は自分が焼いたよ」などという声も聞かれました。保護者の皆様のご理解、ご協力いただきありがとうございました。



各教室で持参してきたお弁当を楽しむ様子

識名小オリジナル「ちんぬくじゅーしー」しまくとぅば検定

現在、識名小学校では、授業や給食などのはじめと終わりの挨拶は沖縄方言で行っています。また、クラブ活動にもうちなーぐちクラブがあり、沖縄方言に親しもうという取組をしています。ほかにも毎週水曜日の給食の時間のお昼の放送では、識名小サポーターの久高将一さんが沖縄のことわざ、黄金言葉(くがにくとぅば)を紹介してくださっています。さらに、放送の後半では三線の生演奏で沖縄の歌も紹介していただいています。紹介していただいた歌の中に「ちんぬくじゅーしー」があります。この歌は沖縄の少し昔の懐かしい家庭の風景がテーマとなっており、久高さんが歌詞の解説もして下さいました。

そこで、「せっかくだからこの歌詞をもとにしまくとぅば検定をしようじゃないか。」ということになり、問題を作りました。問題づくりにあたっては、繁多川公民館の本多まどかさんの協力を得て、ネット上のグーグルフォームでできるものが完成しました。

現在学校では期間を設けて検定を実施中です。お試し版のQRコードを掲載しますので、保護者の皆様もチャレンジし、お子様と競ってみてください。



ステージと各学年のブースで楽しむ様子



く久高さんがこれまで紹介して下さった黄金言葉

- ・やーなれーる、ふかなれー
- ・とぅせーは うまのはい
- ・あらむん じょーぐーや、どー がんじゅー
- ・くちのあまれー ていーぬ んじゃすん

これは一部ですが、子供達にぜひ伝えたいものから紹介していただきました。みなさん、意味はわかりますか。分からない方は調べてみてくださいね。

QRコードを読み込んで検定にチャレンジしてみてください。最後に点数も表示されます。お試し版ですので満点になるまでがんばってください。

(期間は2月末までの予定)

